

事業所名	ウイングハート	支援プログラム	作成日	2025年	1月	30日
法人（事業所）理念	子どもの発達において早期介入を行い、1人1人の特性や発達段階に応じて、子どもたちの能力と潜在力を最大限に引き出せるよう適切な支援を行います。また、保護者のニーズを捉え、情報共有や相談など家族のサポートに努めながら連携して支援を行います。子どもの気持ちを受け止め「困ったら相談できる、助けてくれる」存在となり、信頼関係を築き安心して過ごせる居場所を作り、通所が楽しみになるよう目指します。					
支援方針	身辺自立などの基本的な生活習慣を身に付け、自分でできることを増やせるように支援します。遊びを通して人と関わり、一緒に遊ぶことや表現することの楽しさを味わえるように支援します。体操教室やチャダンス、声帯師（発声や舌のトレーニング）などの多方面の外部講師にて、発達を促し身体機能を高める療育を行います。保護者や幼稚園と情報を共有し、「子どもをまんやかに」をテーマに連携しながら支援を行い、「できなかったこと」が「できた」という喜びを共有します。					
営業時間	平日 11時30分から 17時30分まで 祝日 9時30分から 16時00分まで	送迎実施の有無	あり なし			
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	食事・排泄・着脱・支度等、身辺自立を目指し、自分で身の回りのことができるように支援を行う。集団活動や個別の時間など、一人一人のペースを大事にしながら集団生活のリズムを作る。				
	運動・感覚	平均台やトランポリン、鉄棒などでバランス感覚、体幹、距離感、固有覚や前庭感覚を鍛えるための運動療育を行う。リトミックなど音楽に合わせて、走る・止まるなどの身体の調整力を養い、聴覚・視覚の情報を得ながら身体を使う機能の発達を伸ばしていく。粘土・片栗粉粘土、絵具など手指感覚を使う遊びを通して、様々な素材の感触やおいを感じ、想像力や思考力を養う。				
	認知・行動	認知の特性について理解し、適切な行動ができるように環境調整を行う。また、行動障害への適切な対応と予防を行う。文字・数・大小・空間・時間等の概念について認知や行動に活用できるように支援を行う。スケジュール説明時には、文字や絵カード等の視覚支援を活用し見通しが持てるようにする。集合時に座る・座って話を聞くなどの集団行動のルールを理解や、SST（ソーシャルスキルトレーニング）を行い、社会的に適切な行動ができるように支援する。				
	言語コミュニケーション	発語が遅い・発語がない子どもに対して、視覚支援や指差し・身振り・ジェスチャーなどのコミュニケーション手段を選択・活用し、子どもの発達段階に応じて支援する。朝・昼・帰りの会での挨拶や活動時の挨拶を大事にし、自らの意見や発言できる機会を作る。自分の要求を相手に伝える、相手の話を聞くことができ、コミュニケーションスキルを獲得できるように支援を行う。				
	人間関係社会性	アタッチメント（愛着）形成や気持ちを安定して過ごせるように支援し、遊びを通して他児との関係を作り社会性の発達を促す。言語指示の理解や気持ちをコントロールする力を育み、相手の気持ちを考える機会を提供する。思いが通らない等で気持ちが昂った状態の時は、本人のペースに合わせて関わり、気持ちの発散や切り換えの方法を子どもと一緒に考える。				
家族支援	事業所や関係機関での子どもの様子を伝え、家庭と同じ支援ができるように情報交換を行う。要望や目標に応じた支援方法を伝える。	移行支援	小学校入学に向けての準備や、放課後等デイサービスへの情報提供を行う。			
地域支援・地域連携	保育園・幼稚園・発達支援センター等の関係機関と連携を図り、子どもの情報に基づき、具体的な場面で子どもの関わりについて助言を行う。	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 採用時研修 事業所内研修（毎月）・虐待防止・発達障害・感染症対策等の研修 外部研修会（随時） ・職員の悩み等相談のサポート 			
主な行事等	各季節イベント行事（夏祭り・ハロウィン・クリスマス・節分等）・誕生日会（毎月） ・祝日イベント（クッキング等） ・系列事業所との合同イベント（動物園・市民体育館でのミニ運動会等） ・避難訓練 ・個人面談（春・秋） ・事業所内職員研修（毎月） ・体操教室・チャダンス指導・声帯師等の外部講師による療育					